

インターバンクの声（2016 年 6 月 10 日）

昨日の夕方、帰宅する前に、ドル/円が106円後半から106円30銭前後まで勢いよく円買いになったのを見て、ロンドン、ニューヨーク市場での105円台突入は必至と感じた。就寝前に市場を確認した時も、米新規失業保険申請件数が市場の予想に反して減少したことで、ドルが少し買われたようだったが、106円60銭あたりまで上げた後、再び106円40銭前後に下げたので、これはやはり明日の朝は106円割れだと思い就寝した。ところが、朝起きてみれば、何と107円に戻っているではないか。小さいドルのショートポジションだったが、あっさりストップが付いてしまった。まだ円買い・ドル売りトレンド継続中だとは思いますが、107円台でさらに円売りが続けば傷が広がるだけなので仕方がない。ニューヨーク時間担当の同僚曰く、「午後のニューヨーク株がゆっくり下げ幅を縮小し始めたのに合わせてドル円も戻った」とのこと。ずっと市場を見ていてもドル円の戻りに明確な要因は見られなかったらしい。東京時間にドルが大きく買われる気はしないが、週末なので慎重に攻めたほうがよさそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。